



学校だより

令和5年4月28日
横浜市立茅ヶ崎東小学校
校長 宮本 仁志
都筑区茅ヶ崎東2-11-1
Tel 943-0802・0803

笑顔いっぱい、夢いっぱい、未来を創る東っ子

校長 宮本 仁志

4月18日の学級懇談会や25日の引き取り訓練では、大勢の保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございます。4月に行われた朝会で子どもたちには話してきましたが、保護者の皆様にも、改めてお伝えさせていただきます。

本校の学校教育目標は、「～笑顔いっぱい、夢いっぱい、未来を創る東っ子～」を掲げています。その中の5つの柱の中の1つに「自分と友だちを大切にする、豊かな心を持った子を育てます」というものがあります。今、どのように行動すればいいのか、相手の気持ちを考え、これをしたら（言ったら）相手はどう思うだろうかということをも自分ごととしてとらえ、周りの状況を見ながら考え、判断し、実践できる子どもたちに育ててほしいを考えています。日頃、教室巡りをしていると廊下の棚の中にかけてある子どもたちの体操服などが下に落ちていないことに気づきました。また、体育や特別教室に移動するとき教室の机の上に何も置かれていなくて、椅子が机の中に入っていて、きれいにそろっているクラスも見かけます。これも素晴らしいことです。廊下にかけてあるものが絶対に落ちないことはないと思うのですが、それが落ちていないということは、気づいた人がすぐにかけてあげることをしているのだと思います。細かいところですが、そういうところに気づいて行動できる子どもたちに育ててきているのだと嬉しく思いました。

新年度、学年が上がり、新たな学級の仲間と過ごす中、子どもたちは、互いに触れ合い、関わり合うことで、楽しいことばかりではなく、様々なトラブルや試練に出会います。でも、その時こそが、子どもを一步成長させる機会なのだと思います。学校では、子どもたちに、トラブルをどう解決したらいいかを考えさせ、乗り越える力を身に付けられるよう指導していきたいと考えています。いずれ社会へと進んで行く子どもたちですが、その社会で接する人達は、決して自分にとって都合のいい人達ばかりとは限りません。そんな社会でも、相手の気持ちも考え、自分で考え判断しながら、自分のもつ良さを発揮できる豊かな心を持って行動して欲しいと、私は願っています。

家庭や地域の方々とも協力し合い、子どもたちが自分で考え、自分自身の良さに気づき、やる気を出して取り組む子どもたちを育てていくように教職員も努力していきます。どうぞ保護者の皆様、一年間ご理解・ご協力のほど、よろしく願いいたします。